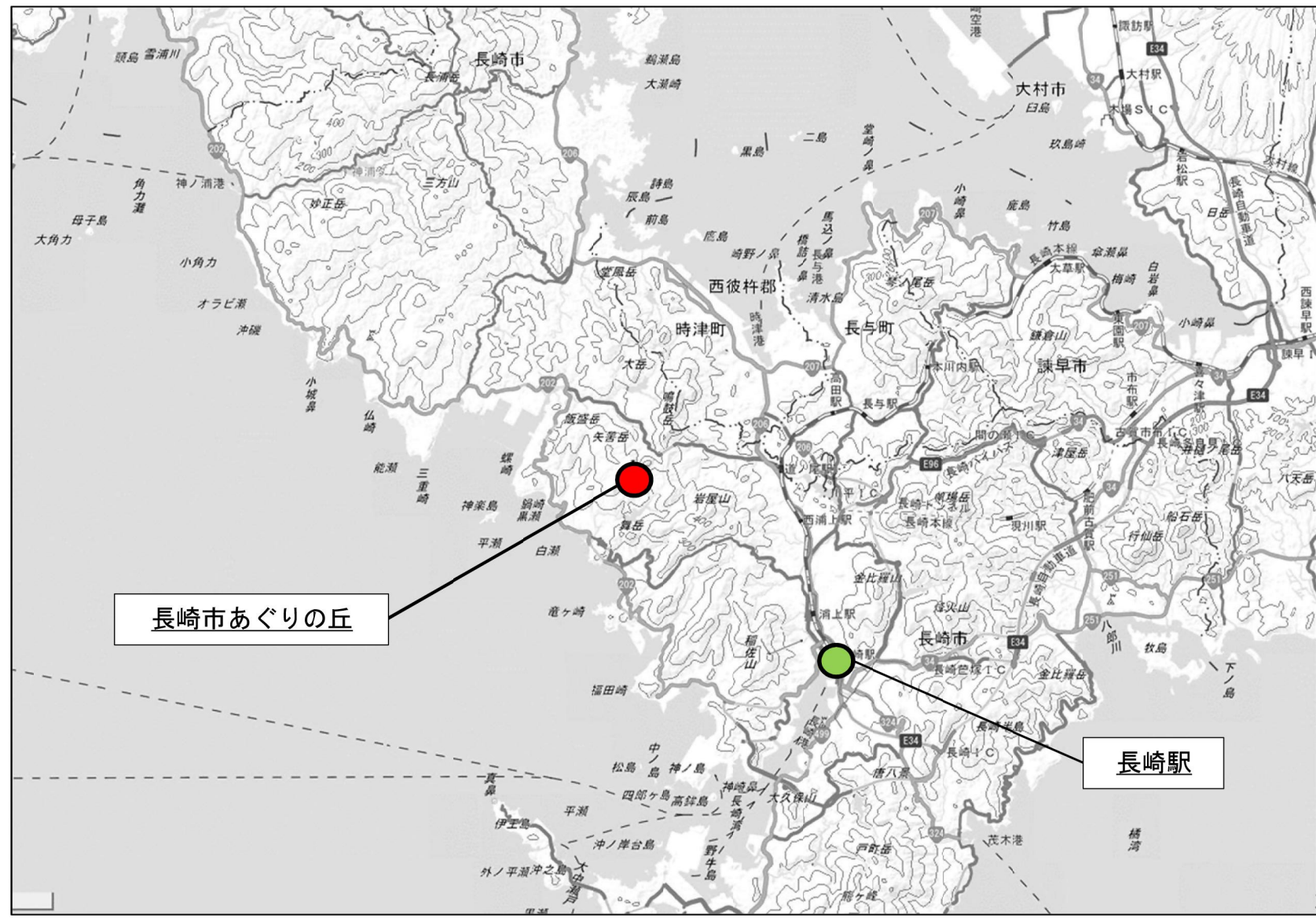


長崎市あぐりの丘について

所在地





小村議員 令和7年9月定例会議 一般質問資料
出典：福祉保健委員会視察時に委員会で撮影

長崎市あぐりの丘について

キ あぐりドーム内各種遊具



クライミングウォール



大型ネット遊具



ボルダリングウォール



ふわふわドーム



ボールプール



複合遊具B



ブランコ



複合遊具A

長崎市あぐりの丘について

(3) 利用者の声

ア アンケート調査結果（R6年度）

- ・施設について 「満足」「やや満足」が87%
- ・スタッフの対応について 「満足」「やや満足」が約85%
- ・料金について 「満足」「やや満足」が約84%
- ・遊戯時間について 「ちょうどいい」76%、「長い」1%、「短い」23%
- ・予約について 「満足」「やや満足」が82%
- ・来館のきっかけ（複数回答） HP37%、知人27%、テレビ14%など

イ 利用者の主な意見

- 雨でも遊べるととても良い場所ができてありがたい
- 清潔感があり遊びやすい
- 時間を決めて遊ばせられるので良いと思う
- 人数制限することでちょうどいい人数で遊べる良いシステム。素晴らしい施設
 - ・幼稚園など団体使用の場合は貸し切りなど考えてほしい
 - ・もっと遊具が増えると良い
 - ・大人と一緒に遊べると良い
 - ・クライミングウォールにシューズが必要なことをもっと周知してほしい
 - ・駐車場からドームまで屋根がほしい
- ×90分は短い。無制限にしてほしい
- ×バスの運行が少なく、アクセスがにくい

なぜ部活動改革が必要なのか

部活動改革の目的は

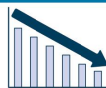
「子ども達の持続可能で豊かな文化スポーツ活動体制」
を作るため



背景

① 少子化による生徒数の減少

学校単位での活動の限界



- ✓ 平成の30年で中学生数が**40%**減少
- ✓ チームを組めない部活動が多数存在
- ✓ できる種目が限定されている

② 教員の大きな負担

教育活動の質低下
教員志願者の減少



- ✓ 国際的に日本の教員勤務時間は非常に多い
- ✓ 社会全体の働き方改革の推進

このままでは、子どもたちのスポーツ・文化活動体制を維持していくのは難しい。
持続可能な体制を地域全体で創っていく必要がある。

文部科学省・スポーツ庁・文化庁が
部活動の地域展開を推進しています。

令和5～7年度 部活動の「改革推進期間」

令和8～13年度 部活動の「改革実行期間」

合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて**可能な限り早期の実現を目指す**よう、各自治体に求める

(スポーツ庁HPより)



つくば市

世界のあしたが見えるまち。TSUKUBA



ジュニアスポーツ・文化活動

地域展開プロジェクト

学校部活動改革プラン



ビジョン

持続可能で豊かな文化スポーツ活動体制を構築することで、
子ども及びつくば市民のウェルビーイング※を実現する

※人との“つながり”を感じ、心身ともに健康でいざいとしている状態

ミッション

01

子どものニーズに応じて、
健全かつ多様な文化スポーツ活動を選択できる環境
を創り出す

02

教員が専門性を高め、
生徒に向き合い、
質の高い学校教育を提供できる環境
を創り出す

03

つくば市民に開かれ、
生涯にわたって
関わり続けることができる
文化スポーツ活動コミュニティ
を創り出す

問い合わせ先

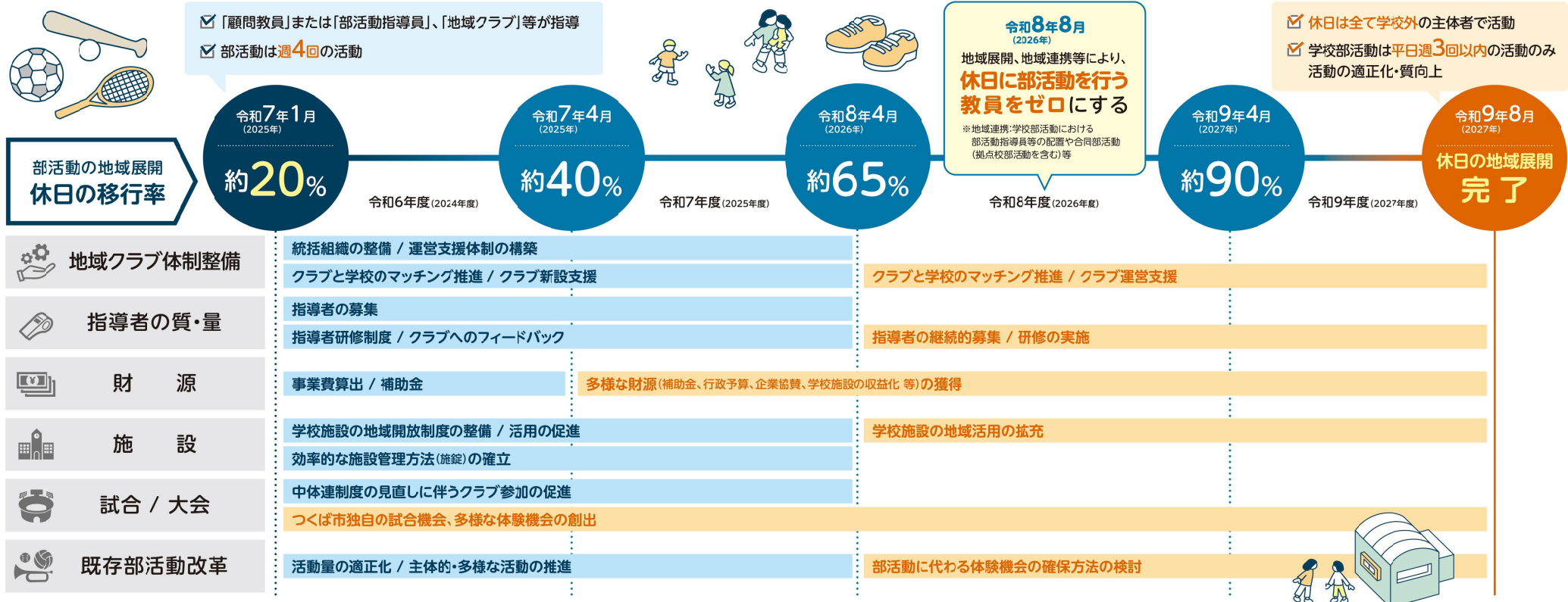
つくば市教育局学び推進課 TEL 029-883-1111

小村議員 令和7年9月定例会議 一般質問資料

出典：つくば市教育局学び推進課「つくば市ジュニアスポーツ・文化活動 地域展開プロジェクト」リーフレットより

つくば市の改革ロードマップ

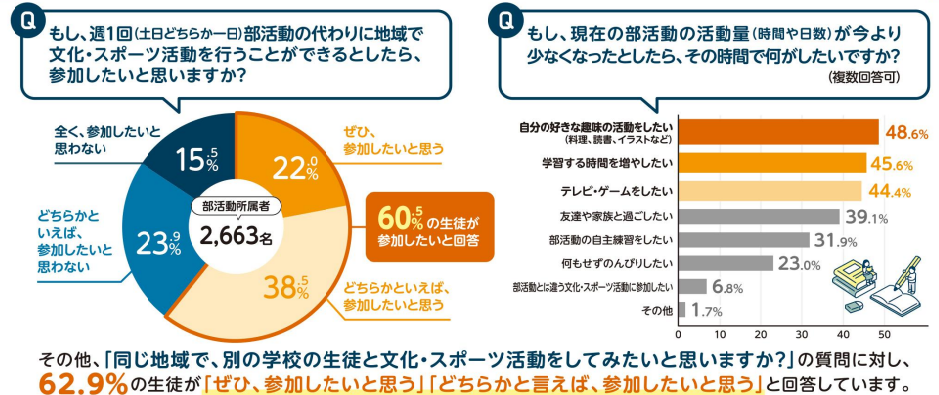
これまでの学校部活動は教育委員会と学校の管轄で実施されてきましたが、これからの新たな地域部活動においては、課題解決に取り組むためのプロジェクト組織を設置し、学校・大学・地域・民間などと協働しながら、子どもたちの持続可能で豊かな文化スポーツ活動体制づくりに地域総がかりで挑戦してまいります。



地域全体で創るウェルビーイングの形



部活動地域展開に関するアンケート市内調査結果



部活動改革は、「文化スポーツ×教育」街づくり政策に繋がる

小村議員 令和7年9月定例会議 一般質問資料

出典: つくば市教育局学び推進課 「つくば市ジュニアスポーツ・文化活動 地域展開プロジェクト」リーフレットより